

(仮称) 筑北スマートインターチェンジ地区協議会 設立趣意書

筑北村は、長野県のほぼ中央部、長野市と松本市の中間に位置し、周囲を山々に囲まれ、自然と調和した農村風景の中で豊かな生活文化を育んでいます。

しかし、近年多発する局地的な豪雨による被害をはじめ、大規模災害時の迅速な救護活動、物資輸送手段の確保が急がれています。

また、筑北村では遊休地への企業誘致を積極的に進めており、高速道路との良好なアクセスが望まれています。

本スマートインターチェンジ設置は、高速道路とのアクセス性、利便性等の向上により大規模災害時の迅速な対応、地域産業の活性化、観光振興や交流人口の増加などに大きく寄与するものと期待されています。

このため、国土交通省、長野県、長野県警察本部、東日本高速道路株式会社等関係機関と連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な調整、検討を行い、開通後も継続して安全性、採算性、管理・運営方法等を定期的にフォローアップし、必要に応じて見直す場として「(仮称) 筑北スマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

平成 30 年 7 月 11 日

筑北村長 関 川 芳 男